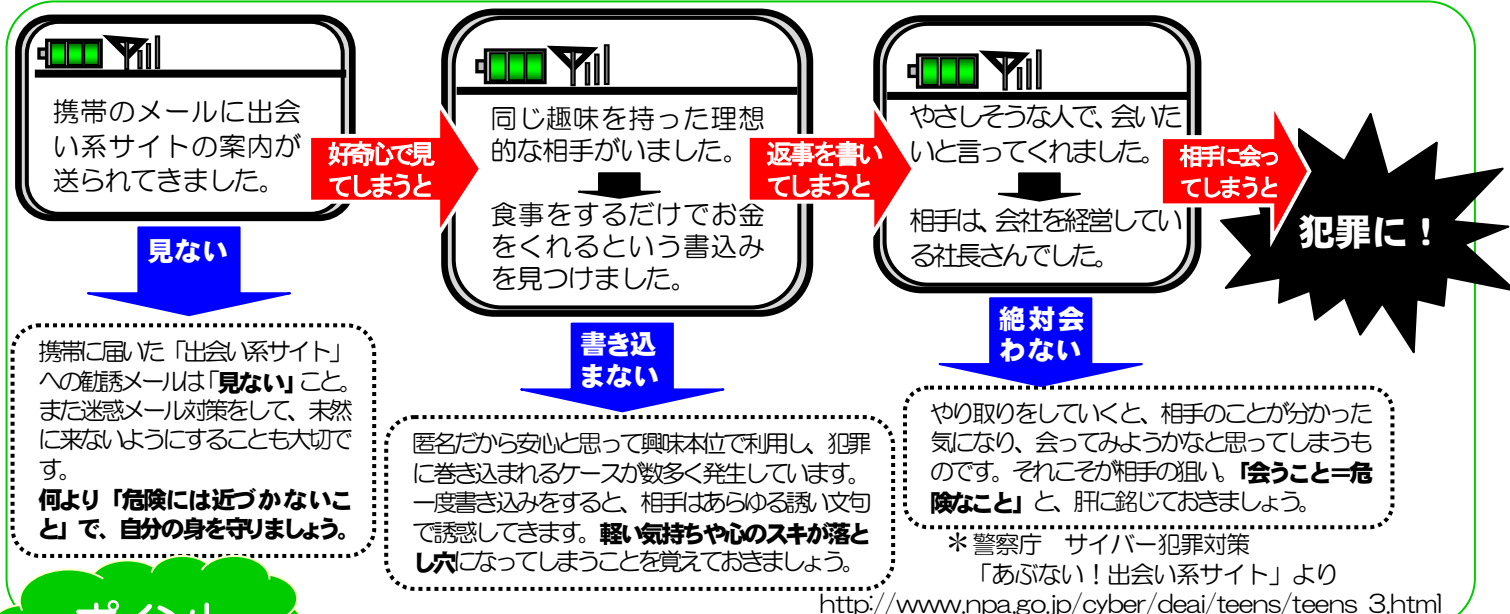


# 出会い系サイトの危険！

出会い系サイトは見ない！、書かない！、会わない！



インターネットや携帯電話の普及に伴い、出会い系サイトも急速に広がりました。出会い系サイトには危険なワナがたくさん潜んでいます。興味本位から出会い系サイトにアクセスし、犯罪に巻き込まれる事例が急激に増加しています。特に10代の女性を狙った犯罪行為が多く、援助交際、レイプ、恐喝、脅迫、殺人事件に至る事件も起こっています。



## ポイント

### 1 出会い系サイトの現状

平成19年中に検挙されたインターネットの出会い系サイトに絡む事件は、1,753件となったことが2月21日、警察庁のまとめでわかりました。被害者1,297人のうち1,100人(84.8%)を児童(18歳未満)が占める一方、自ら性的関係等を求める書き込みをした児童の検挙が急増、被害と非行の両面にサイトが密接にかかわっている実態が浮かび上がりました。

ネットでは、誰でも簡単に年齢や性別、職業等を偽って他人になりすますことができ、このことも犯罪を誘発する要因になっています。

### 2 出会い系サイトから身を守る3つのNO！（見ない！書かない！会わない！）

トラブルの温床となっている出会い系サイトへの対策は、

- ① 好奇心から出会い系サイトへアクセスしない。
- ② 興味本位で書き込まない。
- ③ 絶対に直接会わない。

犯罪に巻き込まれてからでは取り返しがつきません。十分慎重な行動を！

### 3 出会い系サイト規制法（2003年9月施行）

18歳未満の者が出会い系サイトを利用することそのものが禁止されました。これに違反してアクセスし、性行為を誘うような書き込みをすると、成人、児童ともに処罰の対象になります。

- ・18歳未満の人が出会い系サイトを利用してはならない。
- ・18歳未満の人にお金を渡すことを示して交際等を求めることは、法律で禁止されており罰せられる。
- ・18歳未満の人が、出会い系サイトの掲示板に書き込みをして、お金を目的の交際等を求めることは、法律で禁止されており、罰せられる。
- ・保護者は、児童(18歳未満)による出会い系サイトの利用を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

## 出会い系サイトの危険

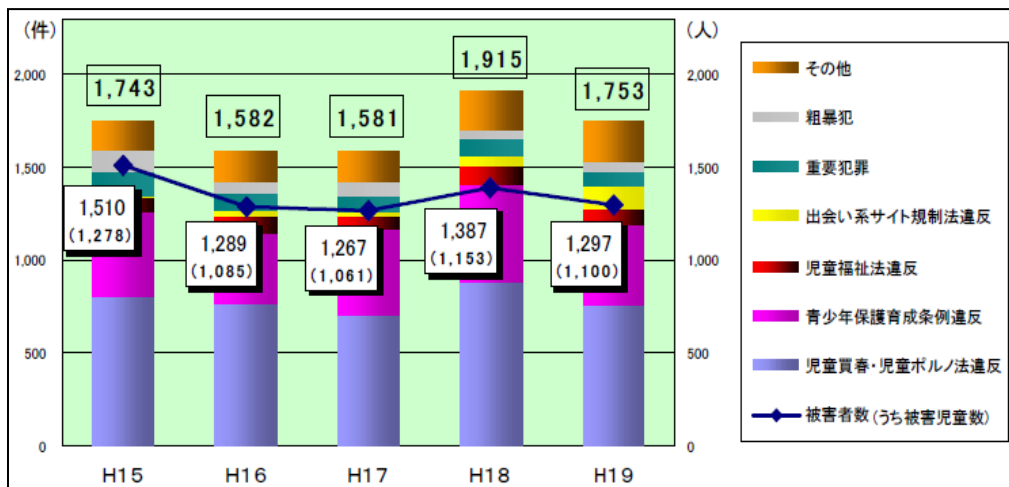
＜統計資料＞『警察庁 広報資料「平成 19 年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」(平成 20 年 2 月 21 日)より』

● 平成 19 年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況

平成 19 年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件として警察庁に報告のあった件数は 1,753 件であり、前年

(1,915 件)と比べて 162 件 (8.5%) 減少した。出会い系サイトを利用して犯罪被害に遭った児童(18 歳未満)は 1,100 人であり、依然として高い水準で推移している。

検挙件数の 72.8%が児童の性的被害に係る事犯(児童買春・児童ポルノ法違反、青少年保護育成条例違反及び児童福祉法違反)であった。



◇ 被害者の年齢・性別

被害者 1,297 人のうち 1,100 人 (84.8%) が 18 歳未満の児童で、そのうち女性は 1,097 人 (99.7%) であった。

※「児童」とは 18 歳未満のものを言う。

※ ( ) は、「被害者数」に対する割合。

|       | H15         | H16         | H17         | H18         | H19           |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 被害者数  | 1,510       | 1,289       | 1,267       | 1,387       | 1,297         |
| うち女性  | 1,395 (92%) | 1,194 (93%) | 1,163 (92%) | 1,307 (94%) | 1,223 (94.3%) |
| 児童    | 1,278 (85%) | 1,085 (84%) | 1,061 (84%) | 1,153 (83%) | 1,100 (84.8%) |
| うち女性  | 1,262       | 1,076       | 1,052       | 1,149       | 1,097         |
| 18歳以上 | 232 (15%)   | 204 (16%)   | 206 (16%)   | 234 (17%)   | 197 (15.2%)   |
| うち女性  | 133         | 118         | 111         | 158         | 126           |

◇ 出会い系サイトへのアクセス手段

出会い系サイトへのアクセス手段として携帯電話を使用した被害児童は、1,100 人のうち 1,062 人 (96.5%) を占める。

|      | H16           | H17           | H18           | H19           |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 被害者数 | 1,289         | 1,267         | 1,387         | 1,297         |
| 携帯電話 | 1,239 (96.1%) | 1,216 (96.0%) | 1,339 (96.5%) | 1,256 (96.8%) |
| パソコン | 50 (3.9%)     | 51 (4.0%)     | 48 (3.5%)     | 41 (3.2%)     |
| うち児童 | 1,085         | 1,061         | 1,153         | 1,100         |
| 携帯電話 | 1,046 (96.4%) | 1,023 (96.4%) | 1,114 (96.6%) | 1,062 (96.5%) |
| パソコン | 39 (3.6%)     | 38 (3.6%)     | 39 (3.4%)     | 38 (3.5%)     |

＜事例＞

『警察庁広報資料、「平成 19 年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」(平成 20 年 2 月 21 日)より

原文通り掲載、<http://www.npa.go.jp/cyber/statics/h20/pdf38.pdf>』

【児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春・児童ポルノ)】

被疑者は、出会い系サイトを通じて知り合った 4 人の女子児童を、それぞれ援助交際目的でホテルに連れ込み性交するとともに、このうち女子児童 1 人との性交場面を撮影した児童ポルノを製造した。(平成 19 年 9 月・栃木)

【出会い系サイト規制法違反】

被疑少年(女子児童)は、出会い系サイトに「援交して下さい・・・中三です・・・5万で」などと対償を受けることを内容とする書込みを行い、児童との異性交際の相手方となるように誘引した。(平成 19 年 9 月・福井)

【出会い系サイト規制法違反、児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春)】

被疑者は、出会い系サイトで「夏休みに遊ぶのにお金欲しい!小中学生の女のこ!サポートするよ」などと対償を供与することを内容とする書込みを行い、児童を異性交際の相手方となるように誘引するとともに、これに応じた女子児童に援助交際の対償を交付する約束をして性交した。(平成 19 年 11 月・奈良)

【昏睡強盗】

被疑者は、出会い系サイトを通じて知り合った男性をホテルに呼び出し、睡眠薬を飲ませて眠らせ、男性の財布から現金約 2 万円を窃取した。(平成 19 年 10 月・大阪)

【強制わいせつ、麻薬及び向精神薬取締法違反】

被疑者は、出会い系サイトを通じて知り合った女子児童 2 人に向精神薬(抗うつ剤)を飲ませるとともに、これを飲み意識がもうろうとした女子児童 1 人にわいせつな行為をした。(平成 19 年 9 月・和歌山)